



アンリ・ルソー《サン＝ニコラ河岸から見たシテ島(夕暮れ)》1887-88年頃 カンヴァス、油彩

ボーションほか
 ルソー、
 魯山人

世田谷美術館コレクション選
 器と絵筆

Vessels and Brushes:
 Rosanjin, Rousseau,
 Bauchant, and Others



北大路魯山人
 《椿文鉢》
 1940年頃 陶器
 撮影：上野則宏

2021年1月5日(火) — 2月28日(日)

開館時間＝午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

休館日＝毎週月曜日(ただし1月11日[月・祝]は開館、翌1月12日[火]は休館)

観覧料＝一般500(400)円、65歳以上400(300)円、大高生400(300)円、中小生300(200)円

* ()内は20名以上の団体料金。* 障害者の方は300円。ただし小中高大生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。

* リピーター割引＝会期中、本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金にてご覧いただけます。

主催＝世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団) 後援＝世田谷区、世田谷区教育委員会

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 Tel. 03-3415-6011(代)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp>

展覧会のご案内:050-5541-8600(ハローダイヤル)

日々愛され使われた器、今日を生きるため描かれた絵画

本展では、世田谷美術館のコレクションの柱をなす北大路魯山人の器と、アンリ・ルソーなど「素朴派」といわれる人々の作品を紹介します。

篆刻、書画、陶芸、また料亭のディレクションなどを自在に手がけた才人ながら、毀誉褒貶の激しかった北大路魯山人（1883-1959）。そんな作家を長年支援した世田谷在住の実業家・塩田岩治が、妻サキとともに愛用した味わいぶかい魯山人作品は、「塩田コレクション」として当館に寄贈されたものです。

ルソーやアンドレ・ボーシャンといった素朴派の描き手たちは、おのおのの人生を歩むなか、独学で表現を探索しました。不思議な魅力をもつ彼らの作品は、生きることと表現することの分かちがたい結びつきを示すものとして、当館の活動のシンボルにもなっています。

本展では魯山人の陶磁器など約50件、フランス、東欧、米国、日本などで生まれた素朴派絵画から約50点を精選。展示室の窓外に広がる砧公園の自然も楽しみながら、日々創造的に生きることに思いをめぐらせる、またとない機会となるでしょう。



大きな窓から砧公園の緑を楽しめる扇形の展示室。

撮影：奥村浩司

パリの入市税関の下級官吏だったアンリ・ルソーは、ピカソなど前衛的な芸術家たちに注目されました。



アンリ・ルソー《リュスマン・ピッシュの肖像》
1893年頃 カンヴァス、油彩

アンドレ・ボーシャンは、フランスのロワール地方で苗木屋を営んでいました。第一次世界大戦に従軍、帰還後に絵を描き始めました。



アンドレ・ボーシャン《地上の楽園》1935年 カンヴァス、油彩
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 E3962



モリス・ハーシュフェールド《母と子》
1942年 カンヴァス、油彩

モリス・ハーシュフェールドはロシア領ポーランドからニューヨークに渡り、工場経営を引退したのちに制作を始めました。

久永強は、戦後シベリアに4年間抑留されていました。70歳を迎えてから、抑留体験を描き始めました。



久永強《お化け茸》
1993年 カンヴァス、油彩



北大路魯山人
《赤兵須水注》
1927年 磁器
撮影：上野則宏



北大路魯山人《染付葡萄文鉢》
1941年 磁器 撮影：上野則宏

器と絵筆 魯山人、ルソー、ボーシャンほか

Vessels and Brushes:
Rosanjin, Rousseau,
Bauchant, and Others

コレクターの塩田岩治自身による金継ぎが、粋なアクセントになっています。

手にすっぽりおさまる小ぶりの水注は、塩田岩治の妻サキのお気に入りでした。

掲載作品はすべて世田谷美術館蔵



- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスE「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から、田園調布駅行バスG「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場（60台、無料）：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

関連企画

● ふれて、知る。「触図」体験コーナー

当館は、視覚障害者の美術鑑賞に関する講演会を長らく開催してきたことをきっかけに、ルソーなどの作品の「触図」（手でふれて読み解く図）を制作しました。会場出口で実際にふれることができます。

* 手指消毒液を常備しております。触図制作：NPO法人視覚障害者芸術活動推進委員会

● おうちで100円ワークショップ!

ルソー人形など、おうちでできる簡単な工作キットを販売中。

日時：会期中の毎週土曜日 午後1時～午後4時 会場：地下創作室 キット代：各100円（ご購入はおひとり各種1セットまで）

同時開催展 ミュージアムコレクションⅢ「芸術家たちの沿線物語 田園都市線・世田谷線篇」 2020年12月19日（土）～2021年3月28日（日）

次回企画展 「アイノとアルヴァ 二人のアールト——フィンランド 建築・デザインの神話」 2021年3月20日（土・祝）～6月20日（日）



世田谷美術館 YouTube

展覧会からパフォーマンスまで、世田谷美術館の多彩な活動を紹介する「世田美チャンネル」、ジュニア（小学校高学年～中学生）向けの「セタビチャンネルJr.」、世田谷美術館美術大学講師がクローキーなどを手引きする「美術大学通信講座」ほか、30本以上の動画を公開中です。



世田谷美術館 Twitter

展覧会やホームページの更新情報などを発信しています。

* 新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び抑制のため、ご入場の際に、マスクの着用、検温、連絡カードのご記入をお願いしております。

混雑時は入場制限をさせていただく場合がございます。

* 展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。最新情報は、当館ホームページ等でお知らせします。

世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 Tel. 03-3415-6011 (代)
https://www.setagayaartmuseum.or.jp
展覧会のご案内：050-5541-8600（ハローダイヤル）